



梅から桜の時期へと移り変わり、いよいよ春本番です。花粉症の方はもう少しの辛抱です！

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター) 発行
Tel : 0296(24)9206
Fax : 0296(24)6979

下妻市の野村孝尚さん・文子さん夫妻が 全国果樹技術・経営コンクールで農林水産省生産局長賞を受賞しました！

2月20日、第16回全国果樹技術・経営コンクールの表彰式が開催され、下妻市のナシ生産者野村孝尚さん・文子さん夫妻が農林水産省生産局長賞を受賞しました。

このコンクールは平成11年度から、生産技術や経営方式等において他の模範となる先進的な農業者や生産団体等を表彰し広く紹介することを目的として開催されているもので、今年度は農林水産大臣賞4点、生産局長賞6点をはじめ計20点が賞を受賞しました。

野村さん夫妻の経営では、とくに園地の樹体能力を把握した上での適切な着果管理による大玉生産や、多目的防災網の設置、「下妻の梨 PR プロジェクトチーム」の一員としての産地 PR 活動や、県育成品種「恵水」のいち早い導入など、その高い技術と産地活性化のための様々な取り組みが評価され、今回の受賞となりました。



←生産局長賞を受賞した野村氏

昨年度開催された県の果樹技術向上共励会での農林水産大臣賞受賞以来、野村さんの園は年間を通して視察者が訪れており、県内外の多くの生産者の参考になっています。今後も、産地のリーダーとしてより一層活躍されることが期待されます。

「新規作物研究会」と「大地のめぐみ」が地産地消の取り組みをPRしました！

真壁ひなまつり開催期間中の4日間、パン用小麦「ユメシホウ」をPRしている「新規作物研究会」と桜川市の後継者クラブ「大地のめぐみ」が直売会を開催し、地産地消の取り組みをPRしました。

今回は、「ユメシホウ」を使用した焼きそば麺の販売と合わせて、調理した焼きそばの販売も行いました。焼きそば麺の購入者の中には「昨年購入して美味しかったので、また買いに来ました！」というリピーターの方も多く、これまでのPR活動の成果が感じられました。自分たちで作った農産物や加工品の売れ行きも好調で、直売会は大盛況となりました。



若手農業者が農薬の適正使用を学び、交流を深めました！

3月13日、合同庁舎において第10回農業学園を開催しました。今年度の農業学園は今回が最後のため、合わせて閉講式も実施しました。

講義では、最初「農薬登録の動向と注意点」と題し、今後導入が予定されている短期暴露評価と、農薬登録の変更による注意点について説明を行いました。

その後、ワークショップを行い、農業を始めて良かったことや不安なこと、今後取り組みたいことについて、学園生同士が自由に意見交換を行いました。学園生からは、「自分の意見を整理したり、他の学園生と共有することができて良い機会だった」との声が挙げられました。当部門では若手農業者の技術習得や交流に向けて、来年度も農業学園を開催していきます！



梨産地の生産力を支える大苗育苗の取り組みについて

梨の産地である当普及センター管内では、梨の大苗育苗の取り組みを進めています。今年度は管内で合計900本を超える大苗のポット移植を行いました。

大苗育苗は、1年生苗木をポットに移植し、さらに1年間育苗してから本圃に定植する技術で、1年生苗木を定植した時と比較して樹冠拡大が早く、早期に成園化できる利点があります。また「ナシの樹体ジョイント技術」に取り組む上でもポイントとなる技術です。

大苗育苗は、老木園の改植を進め生産性を上げるために有効な技術です。普及センターでは今後も育苗管理方法や資材の検討等を通じてこの取り組みを支援し、生産体制の強化を図っていきます。



イネ縞葉枯病とヒメトビウンカの防除に向けて

近年、筑西管内でイネ縞葉枯病の発生が増加しています。被害が大きくなると大幅に減収する可能性が高いので、ウイルスを媒介するヒメトビウンカの適切な防除を行い、減収を防ぎましょう。

ヒメトビウンカの防除のポイントは、移植時の育苗箱施薬剤の処理と本田防除です。まず、移植時に残効の長い育苗箱施薬剤を処理して下さい。ウンカが吸汁することで薬剤を摂取し死亡するので軽度の発病はありますが、被害を軽減する効果があります。本田での防除は、水田への飛来時期（6月上旬～中旬）や、幼虫発生時期（6月下旬～7月上旬）に適用のある薬剤を処理して下さい。

イネ縞葉枯病被害の軽減のために、地域が一体となって防除に取り組みましょう。

※防除や薬剤についてのお問い合わせはJAか、普及センターへお願いします。

普及員のひとごと ～阿久津 理～

4月からアグリ筑西を担当し、あっという間に1年間が過ぎていきました。前職は東京で働いていましたが、その時とは違い、季節の移ろいを感じながら仕事に取り組むことができた1年間でした。来年度からは作物担当として仕事をするようになります。引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。

～編集後記～

桜川マラソンはスタートできず…。今年は練習不足で走ったフルマラソンで大きく調子を崩したので、来年は気を付けます…。

皆様からのご意見・情報お待ちしております。